

- ❖ JAUNSは日本国際連合学会の英文名称、Japan Association for United Nations Studiesの略です。
- ❖ このニュースレターには学会の活動や会員の皆様へのお知らせを記載いたします。
- ❖ 学会へのご意見、ご質問などは事務局までお寄せください。

## 1. 第16回 (2014年度) 研究大会の開催

去る2014年6月28日(土)～29日(日)に、第16回研究大会が北九州市立大学(北方キャンパス)において行なわれました。共通テーマは「多角的視点から考える国連研究の可能性」でした。また学会初の試みとして、開催校の教育プログラムとの連携セッション「国連と日本、日本人」も執り行われました。はじめての九州という地での開催でしたが、多くの学会員、学生や一般市民等の参加を頂き、大変充実したものとなりました。

パネリストの先生方をはじめ、ご参加・ご協力くださった方々、そして北九州市立大学の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

## 2. 第6期 第2回 理事会および総会報告

研究大会の初日の6月28日に理事会および総会が開催され、2013年度決算書および2014年度予算書、ならびに2013年度事業報告および2014年度事業計画が承認されました。

## 3. 新入会員のご紹介

上記理事会において、下記の12名の方が新入会員として承認されました(敬称略)。

近江美保・キハラハント愛・小林かおり・佐藤量介・佐俣紀仁・瀬岡直・外山聖子・中村長史  
番定賢治・安田佳代・柳生一成・米川正子

2014年6月28日現在、会員数は292名となりました。

## 4. 2014年度 第1回 運営委員会報告

2014年9月28日に、2014年度第1回運営委員会が開催され、2014年東アジア国連システム・セミナーの日本開催、2015年度および2016年度研究大会、学会誌『国連研究』第16号、学会誌在庫の割引販売、会員移動などについて検討が行われました。

なお、国連学会理事および運営委員として外務省から参加していただいていた関口昇総合外交政策局国連企画調整課長の国際連合日本政府代表部公使への異動に伴い、後任の松田賢一課長が運営委員となりました。引き続き宜しくお願い致します。また、近江美保会員が企画委員として、米川正子会員および水野孝昭会員が渉外委員として承認されました。

## 5. 2014年東アジア国連システム・セミナー開催のお知らせ

2014年12月12日(金)～14日(日)に、中国国連研究アカデミックネットワーク(CANUNS)、韓国国連システム学術評議会(KACUNS)の代表を招いて、「東アジア国連システム・セミナー」を京都市の同志社大学で開催します。同セミナーでは、複雑化している地域・グローバル問題に取り組むための東アジアのリーダーシップの必要性について、本学会の明石康特別顧問、中国の陳健元駐日大使・元国連事務次長(予定)、韓国の韓昇州元外相など、国連外交の一線で活躍された参加者により、様々な角度から議論される予定です。また、国連平和活動、環境問題、ポスト2015開発課題に向けての国連および東アジアの役割について、各国の研究者が報告致します。日中韓の外交関係が厳しい問題を抱える中、三カ国の参加者が「東アジアと国連」というテーマで自由に意見交換が出来る本セミナーは、意義ある行事と考えております。

二日目(13日)の午後と三日目(14日)の午前中に行われる国連平和活動、環境問題、ポスト2015開発課題に関するセッションは公開して行われます。これらのセッションへの参加をご希望の会員は、12月1日までに渉外委員の米川正子(yonekawa☆rikkyo.ac.jp、☆を@に代えてメールしてください)までご連絡下さい。また、13日の夜にはレセプションを予定しております(参加費4000円)。海外からの参加者人数との関係で、日本からの参加希望者が多数の場合は制限させていただく場合がございますのでご了承下さい。  
(渉外委員会主任 長谷川祐弘)

## 6. 学会誌『国連研究』第16号のお知らせ

『国連研究』第16号は、6月の総会でご案内いたしましたように、「ジェンダーと国連」が特集のテーマです。特集セクションならびに独立論文セクションへの応募はすでに締め切らせていただきましたが、特集に3本、独立論文に6本もの応募がありました。これまでに経験したことの無い応募本数で、学会が活性化している証であると喜んでおります。11月末の原稿締切り日から査読を開始し、およそ4ヶ月間をかけて編集に取り組んで参ります。皆さまのお手元に、例年通り6月中頃には届くようにいたします。楽しみにお待ちしております。

なお、ご執筆者の方々ならびに査読等でご協力いただく先生方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。会員の皆様のご協力がなければ発行にまでこぎ着けることはできません。どうぞ宜しくお願い申し上げます。  
(編集委員会主任 大平 剛)

## 7. 入会の仮承認

2014年9月28日の運営委員会において、入会希望者8名が仮承認されました。仮承認された会員は、会員と同様の資格で学会活動に参加できます。正式の承認は次回の理事会で行われます。

## 8. 国連学会誌『国連研究』バックナンバー割引販売について

『国連研究』の刊行が15号を迎えた機会に、在庫処分と学会財政への貢献のため、学会員限定で割引販売をいたします。

○第1号～第15号の**1セット15冊**の本体価格合計46,400円(税込価格50,112円)のところ、送料・手数料込みで、**27,000円**といたします。用意できるのは50セット程度になります。今回は全巻セットでの販売のみとなります。なお、今後、今回以下の価格で販売する予定はありません。

○申込みの締め切りは、**2015年1月31日**とします。事務局までEメールまたは郵便で、送本先を明記の上、申し込んでください。1月以降先着順で送本いたしますので、到着次第、割引料金の27,000円を振込用紙にて送金いただければ幸いです。振込用紙は『国連研究』に同封か、または別便で郵送いたします。

## 9. 会費納入のお願い

2014年度までの会費をご納入下さいますようお願い申し上げます。本学会は会費収入を主な財源として運営されておりますため、皆様のご協力が不可欠です。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。万一、行き違いの際はご容赦下さい。

なお、**会費を2年以上お納め頂いていない場合には、理事会で協議した後に、会員としての資格を失うこととなります**のでご注意ください(日本国際連合学会規約第7項)。会費納入状況については、下記の事務局までメールでお問い合わせください。

\*\*\* 連絡先にご変更のある方は、事務局までお知らせ下さい。\*\*\*

〒310-8585 茨城県水戸市見和1-430-1 常磐大学

国際学部 渡部茂己研究室内 日本国際連合学会

事務局長 渡部 茂己

Fax : 029-232-2755

E-mail : jauns2013☆gmail.com (☆は@に代えてメールしてください)

日本国際連合学会 (JAUNS) ニュースレター 2014年度第1号 : 2014年11月発行 広報委員会 (秋月弘子)